

ブラジル日本人移住 110 周年記念

日伯フォーラム 2018

～これからの日伯交流を語る～

本年は 1908 年に日本人がブラジルへ移住してから 110 年の節目。この間、両国の人的交流が発展し、政治経済や国際協力など様々な分野で数多くの人材が輩出されてきました。本フォーラムではその歴史を振り返りつつ、これからの日伯交流への期待や人材育成について語り合います。

《参加対象中学生以上 100 人程度 参加費無料》

National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

主催：日本ブラジルかけ橋の会 後援：（一社）日本ブラジル中央協会

2018 年 **6 月 16 日** (土) PM 2:30～5:00 (PM2:00 開場)

【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟 309
東京都渋谷区代々木神園町 3-1

【講師】 吉田 憲 氏 (JICA 中南米部次長)

「これからの日系社会との連携」

菅原直志 氏 (東京都議会議員、元日野市議会議員、日本ブラジルかけ橋の会会員)

「ブラジル体験の恵み・・・私の場合」

アントニオ・J・J・ポテリヨ 氏

(カンディドメンデス大学教授、上智大学客員教授、京都大学元客員教授)

「日本とブラジルの文化交流」

パネルディスカッション (上記講師+)

山敷庸亮 氏 (京都大学大学院総合生存学館教授) (コーディネーター)

神戸 保 氏 (ブラジル日本交流協会会長) (ブラジルよりインターネット参加予定)

申込先：<http://kokucheese.com/event/index/517968/>

問合せ：nippakuforum@gmail.com